

全医労テレファックスニュース

第 32 号 2019 年 2 月 12 日

愛媛支部でも労働者過半数確保

10 人の仲間が加わり拡大目標達成

【愛媛支部発】愛媛支部では昨年 10 月の支部学習会に本部の佐藤委員長を迎え、「切実な要求、一つひとつ改善する時、できる時。あきらめない、泣き寝入りしない、要求することが大事。患者さんや仲間のために要求していこう。そして、要求や改善を勝ち取りその成果を仲間や職場にかえしてほしい。そうした要求と結合して仲間を増やしてほしい」と元気や希望を注入してもらいました。

「過半数組合にするため、10 人の仲間を増やそう」と目標に掲げ、未加入の非常勤職員にニュース、ガイドブック、加入用紙をセット配布しました。退勤時間調査でも全医労の成果を訴え、加入を呼びかけました。しかし、なかなか仲間が増えず執行委員を中心に、各職場で再度加入の呼びかけ、非常勤職員 7 人の加入がありました。

「あきらめないで要求し改善していこう。そのためには仲間が必要」と支部長が訴えて

1 月 30 日に開いた支部大会では、上田支部長が「全医労愛媛支部長としての労働者過半数代表者でありたい。各職場から様々な問題の相談を受けている。あきらめないで要求して改善していこう。改善するためには仲間が必要です。あと 3 人仲間が足りない」と訴えました。

翌日、執行委員が「特殊業務手当削減を延期させたこと、年次休暇が取得しやすくなったこと、医労連共済が活用できること、過半数組合にしたいこと」等、加入を訴えつづけました。職場の仲間からの「一緒に頑張ろう」と後押しもあり、2 月 1 日の基準日に、常勤職員 3 人の加入がありました。時期も組合員数もギリギリでしたが、執行部一人ひとりがあきらめずに取り組んだ成果が、過半数組合の達成につながりました。

愛媛支部は毎月執行委員会を開催し「みんなで考え、決めて、行動する」を基本に職場問題の改善に取り組んでいます。「切実な要求、一つひとつ改善する時、できる時」を合言葉に、「定年まで笑顔で働き続けられる職場」をめざし、要求や改善を勝ち取り職場や仲間のために返していけるよう頑張ります。

以上

▲2019 年新歓ポスター

新歓グッズは 2月15日に発送

支部に届いたら、不足がないか中身の確認をお願いします。今年のポスターには下部に余白がありますので、上のように自由に書き込んでください。